

1 ドル=100円のときには、日本産の自動車 200 万円は、

式 {1} }

で 2 万ドルとなる。

それが、

1 ドル=80 円になったときには、

式 {2} }

で 2 万 5 千ドルとなる。

1 ドル=100円のときには、日本産のカメラ 6 万円は、

式 {3} }

で 600 ドルとなる。

それが、

1 ドル=120 円になったときには、

式 {4} }

で {5} }ドルとなる。



それぞれの空欄に入る数字を書きこんでみよう。

円高 1ドル=100円が、1ドル=80円になった場合

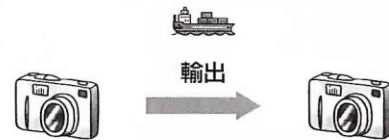


200万円 / 2万ドル

200万円 / 2.5万ドル

外国での自動車の価格が高くなるので、売れにくくなる。

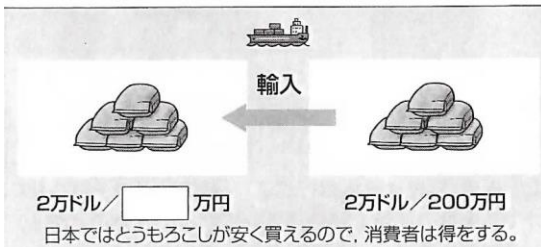
円安 1ドル=100円が、1ドル=120円になった場合



6万円 / 600ドル

6万円 / []ドル

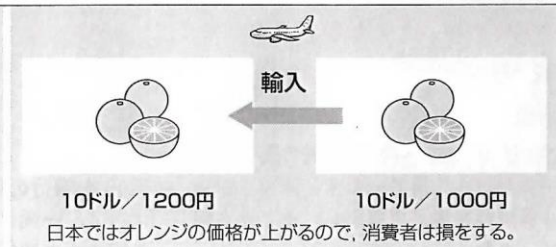
外国でのカメラの価格が安くなるので、売れやすくなる。



2万ドル / []万円

2万ドル / 200万円

日本ではとうもろこしが安く買えるので、消費者は得をする。



10ドル / 1200円

10ドル / 1000円

日本ではオレンジの価格が上がるので、消費者は損をする。

①為替相場の影響 円高は、自動車などの輸出品の現地価格を上げるので、輸出産業が不利になります。しかし、食料品などの輸入品の価格を下げるので、輸入産業が有利になります。円安になると、この逆のことが起こります。

1 ドル=100円のときには、アメリカ産のとうもろこし 2 万ドルは、

式 {6} }

で 200 万円となる。

それが、

1 ドル=80 円になったときには、

式 {7} }

で {8} }円となる。

1 ドル=100円のときには、アメリカ産のオレンジ 10 ドルは、

式 {9} }

で 1000 円となる。

それが、

1 ドル=120 円になったときには、

式 {10} }

で {11} }円となる。

1 ドル=100円的时候は、日本産の自動車 200 万円は、

式 {1 $200 \text{ 万円} \div 100$ }

で 2 万ドルとなる。

それが、

1 ドル=80 円になったときには、

式 {2 $200 \text{ 万円} \div 80$ }

で 2万5千ドル となる。

1 ドル=100円的时候は、日本産のカメラ 6 万円は、

式 {3 $6 \text{ 万円} \div 100$ }

で 600 ドルとなる。

それが、

1 ドル=120 円になったときには、

式 {4 $6 \text{ 万円} \div 120$ }

で {5 500 }ドルとなる。



それぞれの空欄に入る数字を書きこんでみよう。

円高 1ドル=100円が、1ドル=80円になった場合

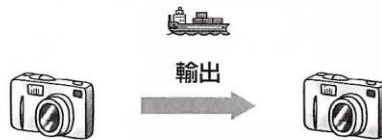


200万円/2万ドル

外国での自動車の価格が高くなるので、売れにくくなる。

200万円/2.5万ドル

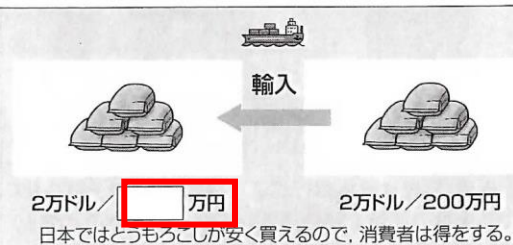
円安 1ドル=100円が、1ドル=120円になった場合



6万円/600ドル

外国でのカメラの価格が安くなるので、売れやすくなる。

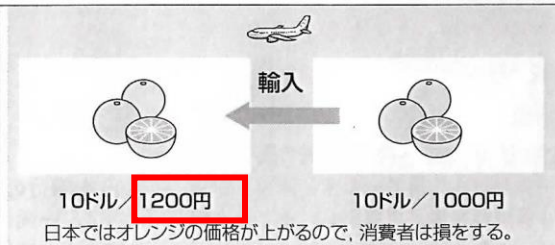
6万円/ ドル



2万ドル/ 万円

日本ではとうとうとしが安く買えるので、消費者は得をする。

2万ドル/200万円



10ドル/1200円

日本ではオレンジの価格が上がるので、消費者は損をする。

10ドル/1000円

①為替相場の影響 円高は、自動車などの輸出品の現地価格を上げるので、輸出産業が不利になります。しかし、食料品などの輸入品の価格を下げるので、輸入産業が有利になります。円安になると、この逆のことが起こります。

1 ドル=100円的时候は、アメリカ産のとうもろこし 2 万ドルは、

式 {6 $2 \text{ 万ドル} \times 100$ }

で 200 万円となる。

それが、

1 ドル=80 円になったときには、

式 {7 $2 \text{ 万ドル} \times 80$ }

で {8 160万 }円となる。

1 ドル=100円的时候は、アメリカ産のオレンジ 10 ドルは、

式 {9 $10 \text{ ドル} \times 100$ }

で 1000 円となる。

それが、

1 ドル=120 円になったときには、

式 {10 $10 \text{ ドル} \times 120$ }

で {11 1200 }円となる。